

会 議 録

- 1 会議の名称 令和2年度 第2回川根本町総合教育会議
- 2 会議の日時 令和3年2月12日（金） 午後3時から
午後4時15分まで
- 3 開催場所 川根本町役場 本庁 2階応接室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
教育長 大橋慶士
教育委員 鳥居 進、太田たみ子、森下洋一、松下陽子
 - (2) 執行機関
町長 鈴木敏夫・副町長 森 紀代志
(事務局) 教育総務課 課長 森下育昭、管理主事兼室長 渡邊哲也
指導主事 守谷知佐子
社会教育課 課長 平松敏浩
総務課 参事兼課長 野崎郁徳、課長補佐兼室長 澤口誠一郎
- 5 協議事項
 - (1) 義務教育学校への再編について
 - (2) その他
- 6 会議資料の名称
 - ・川根本町学校再編関係資料
 - ・川根本町立学校の今後の方向性（案）説明会参加者数 他
 - ・アンケート結果
 - ・要綱の制定（案）（川根本町外国人及び帰国児童・生徒日本語特別指導要綱）
 - ・令和3年におけるユネスコ無形文化遺産への提案候補の選定
- 7 発言の内容

【あいさつ】 町長

日ごろ、それぞれの立場において町教育行政にご理解、ご協力をいただきお礼申し上げます。今回の協議事項は、行政と教育委員会委員とで一枚岩になって進めていかなければならない。本日は忌憚のないご意見をいただくようお願いする。

【協議事項】

 - (1) 義務教育学校への再編について
担当からこれまでの経過とアンケート等の概要及び今後のスケジュールについて説明し意見を求めた。

(教育総務課) 11月に第1回総合教育会議を行った後の取組み状況を報告。特に住民説明会や保護者説明会における意見等について説明する。

引き続き今後のスケジュール(案)について説明する。

(町長) 説明した内容について何かご意見等あるか。

(委員) 第一小学校の生徒は(仮称)本川根学園への通学は可能か。

(教育総務課) 通学区域の弾力化を検討し、運用の中で対応していきたい。

(教育長) 学区については改めて意見を聞き検討した方がいいと考える。

(委員) ICT(情報通信技術)を活用して対応すればいいのではないか。

(教育総務課) 少人数の魅力を説明会で伝えれば良かった。

(委員) 親としては人数が多いことで色々な事ができると感じる。

(委員) 現在取組んでいる連携授業(事業)を活発化してほしい。

(教育総務課) ICTを利用し他校の子供達との交流を行っている。

(委員) 本川根小学校の学校訪問時にテレビ会議を行って交流していた。小学1年生だったが堂々とした対応で大変感激した。

(委員) 部活動から学ぶことが多いと感じる。

(委員) コミュニティ・スクールと同時進行して、弓道など地域の方を指導者として依頼すればと感じる。

(町長) 少人数でも優秀な子供に育つ。先日、本川根中で優秀な成績を収めた生徒が何人かいた。

(委員) (仮称)本川根学園義務教育学校開校が一年早いこと不安がある。楽しみにしているところもあるがイメージが分からない。

(委員) 自分達の子供の頃とは変化している。戸惑いはあるが、子供達には自分が好きな事をやってほしい。

(教育総務課) 不安に感じていることなどを根気よく説明会等を行って対応していきたい。

(委員) 義務教育学校の制服・体操服はどのように考えているのか。

(教育総務課) 決定はしていないが、現在の物を使用し身体の成長等に合わせて負担にならないように対応していきたい。

(町長) 他に意見はないか。

義務教育学校については、令和6年度までに2校に再編し、設置場所については、(仮称)中川根学園については中川根中学校・中央小学校の校舎を活用、(仮称)本川根学園については本川根小学校の校舎を活用するように準備したい。

(全委員) 承認する。

(2) その他

担当から外国人及び帰国児童・生徒日本語特別指導実施要綱の制定について説明する。

また、「徳山の盆踊」について令和3年にユネスコ無形文化遺産へ提案候補して選定されたことについて説明する。

(町長) 説明した内容について何かご意見等あるか。

(委員) 特になし

上記に相違ないことを確認する。

川根本町総合教育会議 町長 鈴木 敏夫